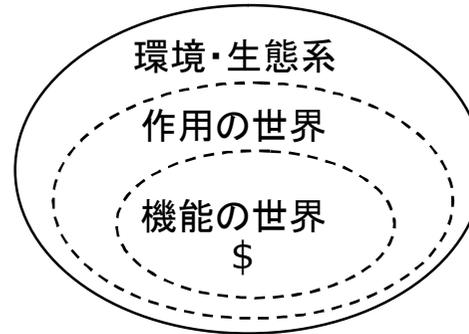
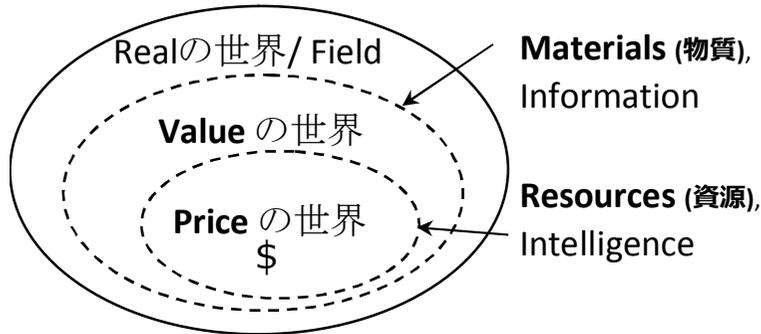


# 環境関係で使われるターミノロジーの世界

世界銀行のシニアエコノミストを勤めた Ecological経済学者のHerman Dalyなどが1970年代に 経済学・会計学の用語を導入した。

Environment, Surroundings(人を取り巻く場所), Milieu, etc

Stock = B/S (Balance sheet)



環境/自然←資産	資産 Assets	負債 Liabilities	→環境負債
		純資産 Networth or 資本 Capital	→環境/自然資本

ex. 空気は人間にとって価値大であるが、希少となる環境でなければ価格は付かない。Priceは市場取引の指標、市場外を外部性という。

Behaviorとfunction (人間にとって有用)の識別 Benefit~Effectiveness cf. OutputとOutcome

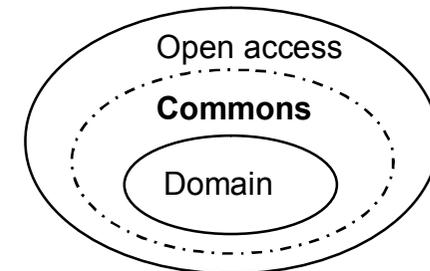
Flow = P/L (損益計算書)

→マテリアルフローコスト会計 (Material Flow Cost Accounting : ISO14051)

cf. 一般には、経済的便益/費用に加え 社会的便益/費用, 外部経済/不経済を取り込む拡張(市場への内部化という)を行う。(公共財の定義に外部性はない。)

## SEEA ((Satellite) System for Integrated Environmental and Economic Accounting) 等のフレーム

	Plan	Do	Check	
財務系 (貨幣単位主体)	財務予算	財務管理会計	財務決算会計 (B/Sは正負ストック)	on balance
環境系 (物量単位主体)	環境予算 <i>Eco budget</i>	環境管理会計	環境決算会計 (B/Sは正負ストック)	off balance 下支えしている 環境をon balance化
	↑ Act			



・財産を目減りさせずにその利息で暮らして行けるように自然環境ストックを目減りさせない・自然環境の復元・再生

参考: 杉原弘恭「企業・自治体と国際会計の新たな関係」日経エコロジー2008/6月号, 杉原弘恭(2005)「エコバジェット」河野正男・環境省編『環境会計A-Z』ビオシティ, 250-255, 299p. 杉原弘恭(1994)「日本のコモンズ」入会」宇沢弘文編『社会的共通資本』東京大学出版会, 101-126, 246p.